

Pervasive and Mobile Sensing and Computing for Healthcare

Subhas Chandra Mukhopadhyay,
Octavian A. Postolache 編集

ISBN : 978-3-642-32537-3

Springer 刊

B5 版・361 頁

定価 24.95 ユーロ (Amazon: 16,699 円)

2012 年 10 月刊

医療分野の IT 融合化に備える技術

医療分野に関する世界の市場成長率は 2001 年以降 8.7% に及び、またアベノミクスの成長戦略でも医療・健康が重点分野のトップとして挙げられている。

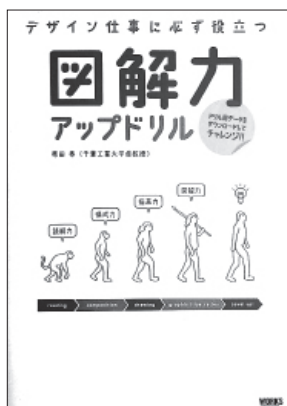
とりわけセンサーと IT の技術進歩により、新しい医療サービスの創出は期待が大きい。例えば、これまで医師一人に多数の患者が診断を受ける従来型サービスに対して、医師よりも患者が中心となり、患者は何時でも何処で医療を受けることができる形態のサービス PCMH (Patient-Centered Medical Home) がある。この外、患者の健康状態を記録するサービスである PHR(Personal Health Record) など、IT 融合化によるサービス創出も検討されている。これから人口の高齢化などが後押しし、このような医療分野での IT 融合化の流れがますます加速されることが期待される。

本著では、このような新サービスを実現するためのセンサーと IT に関する最新技術を紹介する論文を選定・収録している (Mukhopadhyay 教授と Postolache 教授による編集)。

IT に関しては、その障害がこの種のサービスに多大な影響を与えうることから、「IT に関するサービスのディペンダビリティ(頼れる度合い)」を統制し、これを高めてゆくための技術が本著でも取り上げられた。従来のハードウェア・システムなど IT サービスの個別構成要素の次元で論じられてきたディペンダビリティについて IT サービス全体を俯瞰してとらえ、これをモデル化する技術についても本著で述べている (該当章は SEC と早大共著論文)。

この分野の IT 融合化技術や社会経済活動に係る IT サービスの信頼性技術に興味を持たれる方はご一読頂くよう推薦する。 (大高 浩)

『ついにポンチ絵の教本、見つけました!』



デザイン仕事に必ず役立つ 図解力アップドリル

原田 泰 著

ISBN-10 : 4862670903

ISBN-13 : 978-4862670908

ワークスコーポレーション刊

単行本・184 頁

定価 2,625 円 (税込)

2010 年 9 月刊

ソフトウェア開発に求められるスキルは、プログラミング、マネジメント、論理的思考、コミュニケーションなど多岐にわたる。開発現場に求めるスキルを聞くと『ポンチ絵』という回答があった。最近はモデリングツールが普及したことで、ポンチ絵レベルで考え、議論することが欠如しているとの話も聞く。

本書はソフトウェア開発者向けの書籍ではない。デザインの仕事に関わる人に向けた図解の書籍である。近年、デザイン指向などデザインの重要性が認知されているので、ソフトウェア開発との親和性も高い。

ソフトウェア開発においてポンチ絵が求められる局面は多い。ホワイトボードを使った会議、仕様書における図の作成、プレゼンテーションによる説明など、ポンチ絵の有無やレベルによって大きく成果が変わってくる。また海外エンジニアとの調整においても威力を発揮する。

ポンチ絵は情報処理の基本とも言える。伝えたい、伝えるべき多くの情報を、受け手の理解を想定してまとめるのがポンチ絵である。この書評もポンチ絵で描いて発信したいくらいである。

本書はドリルであり、まず絵を描くことを求める。PC を離れ、童心にかえり、大胆に太めのペンで絵を描く。点・線・面を使った伝え方のセオリーも多く紹介されており、図解のセオリーを学ぶこともできる。

最終的にはイラストやプレゼンテーション作成ソフトウェアで、キレイに整形されるが、ポンチ絵スキルが情報の質を左右する。このポンチ絵の質がソフトウェア開発にも大きな影響を与えることを認識してほしい。本書はドリルなので、若手技術者はどんどん問題にチャレンジしてスキルアップして欲しい。

(渡辺 登)